

vol.136

2023.10.31

大分工業高等専門学校広報

# 明野通信

大分市大字牧 1666

TEL 097-552-6075

<http://www.oita-ct.ac.jp>

## / 目次 /

巻頭言〔校長〕	2
主事室便り	2
新任教職員挨拶	4
オープンキャンパス	6
学年通信	9
専攻科便り	14
各種報告	15
学生会便り	17
寮生会便り	19
本科新入生・留学生の声	20
国内インターンシップ報告	21
国際交流	22
地域共創テクノセンターから	24



令和5年度入学式 4月5日(水)



新入生オリエンテーション 4月14日(金) - 15日(土)



科学と遊ぼう! in 豊後大野市千歳公民館 8月23日(水)



オープンキャンパス 7月1日(土)



公開講座「ため池の防災と土の安定処理実験」 8月21日(月)

# 巻頭言

## 大分高専創立60周年

校長 山口 利幸



令和5年度になり、我々の生活に大きな影響を与えていた新型コロナウイルス感染症が、5月に季節性インフルエンザと同じ5類に変更されました。学校の行事等も制限が緩和されて、実施できるようになってきました。本年4月には、本校61回目の入学式を挙行し、本科新1年生161名、マレーシア、イランからの第3学年外国人編入生2名、そして本科を卒業し専攻科に入学された32名の合計195名の皆さんをお迎えてきました。専攻科入学生のうち2名は、新たに始まった九州大学工学部との連携教育プログラムの第1期生になります。本校及び九州大学の両方の学生となり、本校と九州大学の教授陣から授業や研究指導を受けることになります。国際研究発表や産学連携研究プロジェクトへの参加など特色ある学修に取り組み、卒業後は、大学院への優先的な進学も用意されています。すべての入学生が、これからの学修を通じて、大きく成長することを期待しています。

また、新任の先生4名も着任されました。一般科理系講師(数学)の伊野翔次博士(数理学)、同助教(物理)の倉持凜人博士(理学)、一般科文系助教(社会)の内田龍之介修士(法学)、同助教(英語)の野間由梨花博士(文学)です。本校の更なる発展に向け、教育や研究等での活躍を期待します。一方、昨年度末には、機械工学科の薬師寺輝敏教授、電気電子工学科の高橋徹教授、地域共創テクノセンターの笠間俊次教授が定年退職されました。さらに、一

般科文系の朝美淑子准教授、小関康平講師、一般科理系の藤本教寛准教授も他の教育機関へ転出されました。今まで本校の教育研究や学校運営に多大なご尽力を戴きました。

さて、本冊子の前号(第135号)で高専制度創設60周年を報告しましたが、昭和37年の1期校12高専開校に続いて、本校は昭和38年に2期校として開校し、本年度が創立60周年になります。科学技術の進歩に合わせて、本校の学科構成も進化させてきて、現在は機械、電気電子、情報、都市・環境の4学科と機械・環境システム、電気電子情報の2専攻の体制で、有為な人材育成を行っています。そして、本年度、本校創立60周年記念事業を行います。11月1日(水)午後には、本校で記念式典と「高専の森」プロジェクトの植樹式を行います。このプロジェクトは全国の高専で実施されており、持続可能な開発目標SDGsの実現と、次の世代の高専生の成長をこの「高専の森」が見守るというメッセージが込められています。さらに、翌2日には、別府コンベンションセンターで、学術記念事業としてKOSEN水素フォーラム2023 in OITAを開催します。このフォーラムは、Society5.0時代の未来技術の中核となる人材の育成を目的とする高専機構のGEAR5.0事業の一環としても実施されるものです。また、60周年記念事業の一環で、学内環境の整備も行います。別棟となっている保健室、学生食堂の建屋と本館を繋ぐ屋根付き通路を設置します。

本校にとって節目となる創立60周年をお祝いするとともに、新たな時代に向けてより一層の飛躍を目指す契機にしたいと思ひます。今後も科学技術の進展に即応した有為な人材の養成を堅持していきます。



# 主事室便り



総務主事 堀 浩二

本校でも新型コロナウイルスの感染事例が多数発生しましたが、最近になってようやく感染者なしという日が増えてきました。しかし、これから気温が下がってくるとインフルエンザなど従来の感染症にも注意する必要があります。ある特定のウイルスが蔓延すると他種のウイルスには感染しにくくなる『干渉』が発生するという説があるそうです。本校でも、ここ数年はインフルエンザ罹患者が少なかったですが、これからは、コロナと並んでインフルエンザなどにも注意することが必要となります。対面授業を継続できるように、感染対策に引き続きご協力をよろしく願ひいたします。

今年度は、国の『高専スタートアップ教育環境整備事業』の大型予算により、各学科に最新の製造装置や最先端の計測デバイスを導入できています。後期から、授業や工学実験で活用されることと思ひます。また、導入機器の使い方を学べる講習会を実施すると共に、物づくりの好きな学生が装置を自由に使える環境を整備し、教職員に気軽に技術相談できる体制を構築します。そして、このような取り組みを通して、社会的な課題にアプローチし、解決を志す高専生を育成し、日本の経済成長を促すようなアントレプレナーシップ(起業家精神)を醸成したいと考えています。

本校は昭和38年(1963年)4月に開校して、今年60周年を迎えました。その記念事業として、11月に記念学術講演会や、全在校生参加による記念式典、本校の歴史を知る特設ホームページの開設などを予定しています。60周年を契機に、新たなスタートラインに立ち、科学する心と愛の精神を持つ学生を育て、健全で豊かな社会の実現に取り組む技術者の学びの場となる学校を目指していきます。

本校は昭和38年(1963年)4月に開校して、今年60周年を迎えました。その記念事業として、11月に記念学術講演会や、全在校生参加による記念式典、本校の歴史を知る特設ホームページの開設などを予定しています。60周年を契機に、新たなスタートラインに立ち、科学する心と愛の精神を持つ学生を育て、健全で豊かな社会の実現に取り組む技術者の学びの場となる学校を目指していきます。



# 主事室便り



教務主事

松本 佳久

教務主事としては2期3年目を迎えました。今年度の教務主事室は、山本主事補、辻主事補、工藤主事補の外に、新設された教学IR室から徳尾室長と樋口教授にもご参加頂いております。教務主事室と教学IR室では、教育の質保証、本科カリキュラムの編成や改訂、学習・教育環境の充実に向けた取り組み、成績評価、入試業務などを進めております。皆様、引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されてから、ようやく本校でも教務や学生に関する様々な行事がコロナ禍前の状態に戻りつつある昨今です。これに合わせて、4月より校時を元に戻しました。学生諸君は授業の開始時間は少し早くなりましたが、昼休みや放課後は逆に少し余裕が出て、いろいろな活動が出来る状態に戻ったのではないかと思います。

ところで、3年生以下の学生諸君はBYOD (Bring Your Own Device) パソコンを活用しての授業や自学自習に随分と慣れてきたのではないかと思います。本校のWiFi環境はかなり充実しており、シームレスに学内からネットワーク接続が可能になっているかと思います。充電BOXも低学年の各教室には配備させて頂きました。登校後、PCのバッテリーが心配な場合にでも、対応出来ますので、どうぞ活用して下さい。また、この春頃から生成AIについての話題が沸騰しておりますが、これに関しては、8月10日付で「生成AI等の利用に関する注意」を本校ホームページ上に掲載し、学修に利用する際の注意点をお知らせしています。是非、一度確認して頂きたいと思います。上記のように、ツールを上手に使いながら、しっかりと落ち着いて学習に取り組んで頂きたいと思っております。諸君らの夢の実現に向けて学校は引き続きサポートしていきます。



学生主事

大庭 恵一

今年度より学生主事となりました一般科文系(保健体育)の大庭です。学生主事室は、ク

ラブ活動や、学生会行事などの他、学生生活全般の業務を行っておりまして、私のお、7名の主事補の教員で担当しております。

クラブ活動は、今年度からコロナによる制限がほぼなくなり、高校総体や高専大会において数多くの学生たちが活躍してくれました。詳しくは、【各種大会報告】をご覧ください。彼らは、コロナの影響で元気がなくなった学生たちにも活力を与えてくれています。10月には、ロボットコンテストが行われますので、ロボット研究部が昨年に引き続き(全国2位)大活躍してくれて、大分高専の名を全国に轟かせてくれることを期待しております。

10月からは、学生会行事が続きます。18日(休)に体育祭、28日(土)に高専祭が行われ、11月5日(日)に大分高専第1体育館にて音楽祭が行われます。今年の高専祭は、4年ぶりに入場者制限なしで行います。各行事とも、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。さらに、1~3年生も自由な服装で登校できる「カジュアルウィーク」を10/19(木)~11/5(日)の日程で行う予定です。昨年実施いたしました、この期間、学校全体が明るくなったとのアンケート結果が数多く見られましたので、今年も実施することとしました。

学生主事室ではいじめアンケート調査を実施して、学校生活において困りごとを抱えている学生を見逃さないようにしています。また、学生相談室、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの先生方と協力して、どんな学生でも安心して相談できる体制をとっております。全ての学生が心身ともに健康で、充実した高専生活を送れるように、学生主事室一同、力を合わせてサポートしていきます。



寮務主事

清武 博文

寮務主事4年目となります。今年度寮生のお世話を

する主事補の先生方は、1寮が広瀬裕美子主事補、2寮が樋口勇夫主事補、3寮が伊野翔次主事補、4寮が永家忠司主事補、5寮が十時優介主事補です。また、古川雅教さんを新しい学寮指導員として迎えました。関係教職員一丸となって寮生の皆さんをサポートします。

後期から新しい寮生会長が組織されます。新しい寮生会長のもと、各寮の寮長、内務部、企画部、広報部、厚生部、美化部、緑化部、ネットワーク管理部、選挙管理委員等の寮生会役員が各寮の指導寮生と共に自治組織を形成します。寮生の皆さんも、配属された部の活動を通して、一緒に楽しい寮生活を創り上げましょう。

10月から、寮管理費が光熱費の高騰を受け月2,000円、食費が食材費の値上げと最低賃金アップのため1日当たり100円値上げされます。寮運営の為には避けられないことですが、寮生の皆さんはエアコンの過剰な温度設定を避け、着用する衣服を調整して省エネルギーに努めてください。

これから冬に向けて、インフルエンザも流行る季節を迎えます。「感染が拡がらない寮」とするべく、寮全体への視線を持って各人の行動をお願いしたい。体の抵抗力を保つために、睡眠と食事はきちんと取りましょう。

後期のイベントは、寮生リーダー研修、寮生バレーボール大会、防災訓練、寮祭を予定しています。寮生の皆さんと一緒に感染症対策を実施しつつ、人間形成と教育の場となるように務めて参ります。



# 新任教職員挨拶



一般科文系  
内田 龍之介

4月に着任しました内田と申します。政治・経済(2年生)と法学概説I・II(4年生)に加えて、3C副担任、バドミントン部顧問を担当しています。

これまで関西の大学にて非常勤講師をしておりました。政治学を専攻し、日本政治や農政を研究しています。赴任前は工学の学校なので「社会科への関心は高くないだろう」と不安でした。しかし、杞憂でした。学生さんは勉強に積極的で、当方も楽しくなるような気持ちのよい挨拶や面白い話をしてくれます。部活動では爽やかな汗を流し、オープンキャンパスでは研究内容の社会での応用を説明してくれました。優しさを以って新入り教員に接し、技術と社会の調和を意識する前途洋々な若人との出会いに感謝しております。

このような学校が今日あるのは、教職員のみなさまにも「愛」があるからでしょう。先生方からは困った際は的確なご助言を得られ、職員の方からも様々にわたるご支援があります。良き職場に赴任できましたので、「愛の精神」の伝道師の一員になれるよう無理のない範囲で奮励努力します。

大分が舞台の『男はつらいよ』第30作が好きなので、沢田研二のつもりで(田中裕子似の方と出会えるよう)各地を訪ねてみます。お薦めの地と食をご教示ください。お願い申し上げます。



一般科文系  
野間 由梨花

5月から一般科文系の英語担当教員として着任いたしました野間です。新学期開始後1ヶ月が経ってから参りましたので

迷惑おかけいたしました。教職員の皆さま、学生の皆さんにたくさん助けていただき前期が無事に終えることができました。

これまでは中学・高校・大学にて非常勤講師として英語を教えていましたが、高専は私にとって未知の領域でした。雰囲気も何もかもが新鮮で、学生の皆さんの学ぶことに対する姿勢に圧倒され、私自身日々たくさん学ばせていただいています。

さて、みなさんにとって英語とはどんな存在でしょうか？ 私にとって英語は、新しい世界を持つ手段です。留学に行ったり、海外旅行に行ったりすると、様々なバックグラウンドを持った人たちと関わります。会話をしてお互いを知っていく中で、私の中の「普通」が崩れ、見える景色がいつも変化するのです。私はこれが海外に行く醍醐味だと思っています。授業を通して、英語の能力を向上させるだけでなく、広い視野を持って世界を見る力を育てていきましょう。

授業(もちろん授業外も!)やイベントを通して、皆さんと一緒に充実した学校生活を送りたいと思っています。まだまだ未熟なところもありますが、どうぞよろしく願いいたします。



一般科理系  
伊野 翔次

4月に福島高専から大分高専一般科理系に配置換えとなりました伊野と申します。私の出身が福岡県ということもあり、同じ九州に戻ることができ嬉しく思っています。しかし、約7年間勤務した福島高専を離れることが決まると、とても名残惜しかったです。それだけ教職員の方々や学生の皆さんに恵まれていたのだと思います。大分高専でも、そういった関係を築いていきたいと思っています。専門は数学ですので、全学科の数学系科目を担当します。

趣味は野球・バスケ・格闘技などスポーツ全般の観戦です。私自身も小学校から大学までバスケに力を入れて取り組んできました。スポーツを通して学んだことを学生の皆さんと共有できればと思います。また、クライミングも現在の趣味の一つです。屋外(山奥)の岩を登る爽快感は良いリフレッシュになっています。クライミングのハイシーズンは空気が乾燥する冬なので、これからの休日に時間を見つけて登りに行きたいと思っています。

趣味の話が長くなりましたが、学生の本分である学業をサポートできるよう力を注いでまいります。皆さんの方からお気軽にお声がけ頂けると嬉しいです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



一般科理系  
倉持 凜人

今年度から一般科理系の物理の担当教員として着任しました倉持と申します。

私は長年「研究学園都市」と呼ばれる茨城県つくば市に住んでおり、「科学」は身近な存在でした。ですので、多くの人に科学を身近に感じていただけるような活動にも携わりたく考えております。また、初めて関東から飛び出すことになりましたので、大分の興味深い場所等をご教授いただくと大変ありがたく存じます。

私の専門は素粒子理論であり、特に、弦理論と呼ばれる物質の最小単位を粒子から弦へ拡張した理論について研究しています。これは物理学の中でも特に数学との関係が深い分野です。また、物理学は、自然科学全ての基礎となる「ルール」についての学問ですので、学生がこれから先の人生でも研究をしたり、専門書を読んだりするために必須になります。そのため、自身の経験を活かし、物理学と数学をつなげるような研究や講義を展開したいと考えております。



## 新任教職員挨拶

私は学生時代からサッカーをしてきました。実際に試合を行うのも、試合を観戦するのも大好きですので、機会がございましたらお声がけいただけますと幸いです。

教員として働くのは初めてのため、不慣れなこともあり至らぬ所も多いと存じますが、私自身が成長するよう日々努力いたしますので、何卒よろしく願いいたします。



学生課学生生活係  
生嶋 典恵

大分大学から出向し、令和5年7月より学生生活係(明野寮)で勤務しております。生嶋と申します。高専のキャンパスに足を踏み入れたのは初めてで、制服姿と私服の学生さんが混在する環境に初心を思い出して、フレッシュな気持ちで過ごしています。

寮の敷地内では朝の登校時などすれ違う時に必ず挨拶をしてくれますが、礼儀正しくさわやかで、いつも清々しい気持ちになります。また先生方は朝・夜と寮内を巡回し、親元を離れて暮らす学生さんの生活・安全管理にご尽力されており、私もその一助となるよう精一杯努めてまいります。慣れないことが多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



総務課総務係  
七蔵司 明希

令和5年5月1日より総務課総務係に採用となりました七蔵司明希と申します。

事務の仕事はこれまでに経験してきましたが、学校事務の仕事は初めての経験となります。不慣れで戸惑うことも多く、教職員の方々に支えていただきながら

日々業務に邁進しております。また、皆様にお手を煩わせることが多々あるにも関わらず、いつも快くご協力いただいておりますことに感謝しております。

総務係の業務では、電話やメール等でのやり取りが多く、なかなか皆様のお顔を覚えることが出来ておりませんので、直接お話しをする際にはお名前を教えてくださいと幸いです。また、学生のみならず、校内ですれ違う時は、大きな声で挨拶してもらえると嬉しいです。

まだまだ微力ではございますが、大分高専の職員として、皆様のお役に立てるようこれからも努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。



総務課財務係  
後藤 知己

7月1日付で総務課財務係でお世話になっております後藤と申します。毎日が新しい

ことだらけでドキドキしていますが周りの皆様に助けられています。学生のみならずみなさんが見かけてくれた時に挨拶してくれる姿に元気もらってます。財務の仕事は初めてで至らないことが多く、ご迷惑をおかけしておりますが1日でも早く仕事を覚えお役に立てるよう努力いたしますのでご指導の程よろしく願いいたします。



学生課教育支援係  
梶原 美和

令和5年7月1日より学生課教育支援係に着任いたしました梶原と申します。

教育支援係では学生と直接関わることができ、高専生は想像していた以上にしっかりしていて元気がある学生が多いという印象を受けました。

私自身、ミニバスをしている小学生男児二人の育児中であり、休日は試合の引率や練習の見守りばかりしています。プライベートでは小学生と関わる機会が多いので、学生の皆さんが勉強やその他の活動を仲間とともに熱心に行っているのを見てとても良い刺激を受けています。学生の皆さんは同じ空間でともに成長できる今の仲間を大事にしてくださいね。

業務に関しては戸惑うことが多く、未だに周りの方々に助けていただければ幸いです。自信をもって様々な事案に対応できるよう、皆さんの学生生活をしっかりサポートできるよう、日々勉強して参ります。どうぞよろしく願いいたします。



総務課用度係  
明石 優子

令和5年7月1日付で総務課用度係に配属されました、明石と申します。初めての業務

に緊張と不安でいっぱいでしたが、皆さんの温かいご指導により、少しずつですが業務を覚えてまいりました。物品が届いては、どんな研究、実験に使うんだろうと皆さんの勉強に励む姿に思いをいたしてるところです。

私には5歳になる息子がいますが、高専の話をするときをきらきらさせながら「僕も行きたい!」とっています。高専の皆さんの存在は、少年少女の憧れなんだと思います。

私自身、至らぬ点が多くあると思いますが、少しでも皆さんのお力になれる様日々精進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。





# 令和5年度 オープンキャンパス



広報委員長 総務主事 霧 浩二

令和5年度大分高専オープンキャンパスが例年通りの日程で7月の第1土曜日(7月1日)に開催されました。昨年までは、新型コロナウイルスの影響もあり、規模を縮小しての開催でした。今年は5月にコロナが5類移行となり、一部制限を残しながらも、コロナ以前のオープンキャンパスに近づけられるように、教職員が協力して実施しました。

オープンキャンパスの目的は、本校への進学希望者やその保護者および周辺地域の方々に本校の施設を公開し、各種イベントや実験を通して本校についてより深く理解していただくことです。しかし、今年も密を避けるために、参加対象者を中学1～3年生と保護者、引率教員の皆様だけに限定することにしました。当日は、中学生579名、保護者等542名の合計1121名の多くの参加者にご来校いただき、入試問題解説、午前午後2回の入試・学校説明会、学生引率による専門科4学科を見学するキャンパスツアーなどを実施できました。

アンケートの実施結果では、「子供がわくわくドキドキできそうな学校だと感じました」、「普通の高校では学べないような事が学べる」、「生徒さんの紹介で学校の様子がとてもわかりやすかった」などのコメントをいただきました。満足度評価では、5点満点で平均4.6点でした。

オープンキャンパスをきっかけに本校を志望する中学生も多いことから、今後も充実したイベントとなるよう学校を挙げて取り組んでいきます。

学科等	テーマ
機械工学科	機械工学科でロボット体験!
	ホーバークラフトに乗ってみよう!
	日常では見えない世界
	調理法を変えた鉄の強さの違いを実感してみよう
	VRで溶接体験!
電気電子工学科	学生のアイディア作品大集合!
	AIとロボットを見て、触ってみよう!
	電波で咲かせよう! LEDのお花畑 🌸
	雷様を体感しよう ⚡
情報工学科	何ができるかな? 3Dプリンタ・レーザー加工機
	映像メディアスタジオへようこそ!
	アルゴリズムで遊ぼう! 学生プログラム展示
	CGでパンダを作ろう
	日常生活で利用される情報技術
都市・環境工学科	スクラッチでプログラミングを学ぼう
	楽しいコンクリート
	地震に強い構造物を作ってみよう!
	環境分野の研究紹介
	都市・防災におけるIoT技術の活用
	土の不思議!?



学校説明会・学生による学科紹介



高専入試問題解説



高専なんでも相談コーナー



足踏みミシンボランティア活動紹介

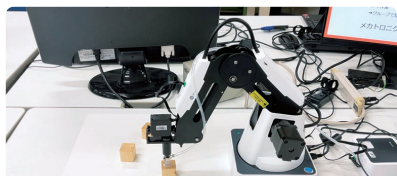




## 機械工学科 オープンキャンパス

### 機械工学科でロボット体験！

二足歩行ロボットによるロボットバトル、小型ロボットアームによる積み木の運搬や文字描画、小型移動ロボットを使った地図作成体験など、様々なロボットを使った実験を見ていただきました。



### 日常では見えない世界

掃除機に使われるサイクロンの流れや、500円玉に隠された文字など、日常にはあるけど見えない世界を、高専の設備を使って学生がわかりやすく紹介しました。

保護者の方からも高専の学生はしっかりしているところ好評いただきました。



### VRで溶接体験！

VR溶接訓練システムはCGで溶接を体験し、コストや環境負荷を減らします。溶接の方法や結果が色や数値で視覚的に分かり、実習の効果が高まります。



### ホーバークラフトに乗ってみよう！

2024年に就航予定の大分市と大分空港を結ぶホーバークラフト。オープンキャンパスでは、実物の原理を応用し、ミニサイズで学生が製作したホーバークラフトの展示と体験乗車を行いました。



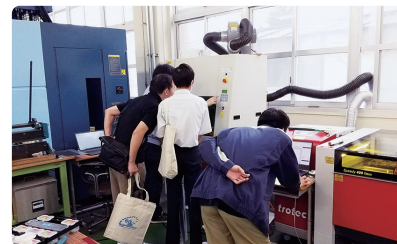
### 調理法を変えた鉄の強さの違いを実感してみよう

熱処理の条件を変えるだけで、鋼の特性が変化する熱処理実験や巨大ハンマーによる鋼の衝撃試験を行いました。中学生も興味深く見学し、保護者の方からも驚きの声が上がっていました。



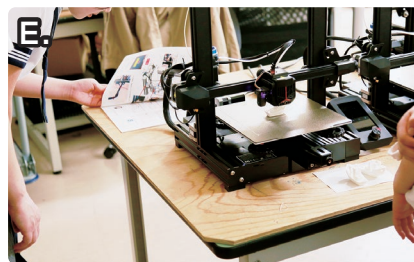
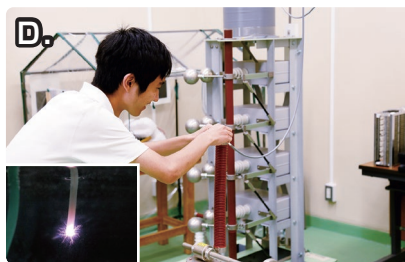
### レーザー加工を見てみよう

レーザー加工機で金属や非金属の板材を切断や刻印ができます。CADを使ってスケッチしたサンプルアクセサリーを配布し、見学者には好評でした。



## 電気電子工学科 オープンキャンパス

3～5年生および専攻科生のサポートを受けつつ、5つのイベントを実施しました。どのイベントも終始、大盛況でした。



A. 学生のアイデア作品大集合！

B. AIとロボットを見て、触ってみよう！

C. 電波で咲かせよう！LEDのお花 🌸

D. 雷様を体感しよう ⚡

E. 何ができるかな？ 3Dプリンタ・レーザー加工機

# 情報工学科 オープンキャンパス

情報工学科では、映像制作等の情報技術の紹介、CG作成、プログラミングなど計5つのイベントを実施し、悪天候にも関わらず多くの中学生とその保護者の方で参加いただきました。実施したイベントのうち3つを紹介します。

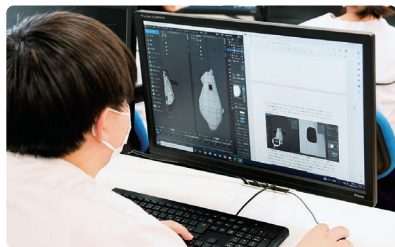
## 映像メディアスタジオへようこそ

映像メディアスタジオでは、学生たちがYouTubeで生配信を行いました。お越しいただいた皆様はスタジオで、撮影と配信がどのように進行するかをご覧くださいました。この機会に、映像が作成から配信までのプロセスをより深くご理解いただけたことと思います。



## CGでパンダを作ろう

CG作成ソフトウェアBlenderを用いて、パンダの3Dモデルの作成に取り組んでいただきました。多くの方は初めての経験だったようですが、上手く使いこなして楽しく3Dモデルを作成いただけました。イベントは計2回実施しましたが、どちらも大変盛況で多くの方にご参加いただきました。



## スクラッチでプログラミングを学ぼう

プログラミング言語のスクラッチでは、参加者が簡単なアニメーションやゲームを自分で作成しました。初めてプログラミングに触れる方も多かったです。スクラッチの直感的なインターフェースで、皆さん楽しくプログラミングを学んでいただけたと思います。



# 都市・環境工学科 オープンキャンパス

都市・環境工学科では、5つのイベントを実施しました。

### ① 楽しいコンクリート

コンクリート実験室では、コンクリートおよび鉄筋の破壊実験の動画を見ました。また担当学生のプレゼンテーションにより、土木分野で直面している社会問題、およびそれら問題を解決するための研究テーマの説明を行いました。さらに鉄筋コンクリートがなぜ安全に生活を支える構造物として使うことができるのかについて、簡単な模型を使って力学的原理の説明をしました。当日は多くの中学生・保護者に来場していただき、興味深く説明を聞いていただきました。



### ② 地震に強い構造物を作ってみよう!

紙ぶるる(応用地震計測株式会社)を使って、地震による建物の揺れと補強効果の関係を体験していただきました。今回の観察・体験を通して「地震の防災・減災」に関心を持っていただければ幸いです。

### ③ 環境分野の研究紹介

本校で行われている環境に関する研究内容を、動画で紹介しました。

### ④ 都市・防災におけるIoT技術の活用

来場者には、都市空間におけるシミュレーションとして、ため池の越流シミュレーションにドローンの操作を、防災を目指したIoT技術の活用として、サイン配置と避難シミュレーションにVR



Googleで見た別府駅前の空間を体験していただきました。都市・環境工学におけるIoTの活用について興味をもっていただければ幸いです。

### ⑤ 土の不思議

身の周りにあるものを使って簡単な土に関する実験を体験していただきました。

●ココアで断層作り ●寒天地層のボーリング体験 ●片栗粉でダイレイタンシー体験の3種類です。ご来場の皆様に楽しく実験に参加していただきました。

このイベントを通して、都市・環境工学科の専門範囲の広さを感じてくれたら幸いです。



## 学年通信

## 1学年クラス通信

## もっとアクティブに！

1M担任 池田 昌弘

高専に入学して前期が終わり、後期に入ろうとしています(8月終わりに執筆)。前期を振り返ってどうでしたか？慣れましたか？全員で進級できることを祈るばかりです。後期に入ると、イベントが盛り沢山の高専。クラス全員で団結して、仲良くして欲しいと思います。担任の目線で前期の1Mを振り返ると、やはり学業面で不安を感じざるを得ない部分があります。前期の経験で、高専ではどのような感じで授業が進んでいくのが分かったかと思いますので、後期は改善していけるように努めて下さい。どれだけ積極的になれたかで、結果はがらりと変わってきますから(学業に限らず何でもそうですが)。後期は更に輝くみんなの姿を見たいと思います。

## 初志貫徹を

1E担任 山口 貴之

1Eのみなさん、高専生活が始まり、はや半年が過ぎました。期待を胸に膨らませていた入学式から実際に授業を受けてみて、いかがだったでしょうか。

最初の頃は90分授業が大変だとか、授業の進度が早すぎてついていくのが

やっとなどとかなの声がありました。最近あまり聞かれなくなったかなと感じています。試験の結果も総じて優秀で、みな良い高専生活が送れているのではないのでしょうか。

反面、放課後などに気のゆるみが出てくる学生も出始めたように思えます。高専生活に慣れることは良いことですが、気を引き締めるべきところは押さえておくよう心がけましょう。

ともあれ、みなさんにはこれからもう4年半の高専生活があります、入学したときの気持ちを忘れず、勉学に励んで下さい。

## 千里の道も一歩から

1S担任 山下 航正

「元気のいい挨拶ができる」。これは、3月の合格者面接での皆さんの第一印象でした。半年が経過した現在でも変わっていないというのは、1Sの絶対的な長所です。そこに、前期の期間で、「教室環境がきれい」「周囲を思いやることができる」も加わりました。後期以降、他のどれだけの要素を増やしてくれるか、とても楽しみです。「全員が不合格単位数をゼロにする」が加われば、鬼に金棒なのですが…。

バイクや車が好きな人は、走行メーターのゾロ目やキリ番を気にしがちです

(ホームページのアクセスカウンターでも、同様の現象がありました)。私も以前はそうでしたが、「結局は、毎日の1km、毎日の1mの積み重ねだよな」と考えるようになっていました。これからの日々、1mmでもいいので、何かしらの成長を積み重ねていって下さい。私自身も道半ば、皆さんのお手伝いをしつつ、共に歩んでいきたいと思っています。

## 前期をふりかえって

1C担任 姫野 季之

4月から始まった高専生活ですが、1年生として過ごす時間もおよそ半分を終えました。皆さんはこの半年間で何を感じたでしょうか。学校での生活面や勉強面など、中学時代との違いに多くの刺激を受けたことと思います。うまく軌道に乗せられた方もいればもう少し時間が必要な方もいる印象です。一方で、入学時の独特な緊張感や静けさも束の間、オリエンテーションや球技大会などのイベントを通じてクラス仲も深まり、皆さんが元気に過ごしている様子を嬉しく思っています。また、Teamsでの連絡にも良く反応してくれて助かっております。後期には、体育祭や高専祭などもあります。良い部分は継続しながら後期も楽しく頑張っていきましょう。応援しています！



1M



1E



1S



1C

## 学年通信

# 2・3学年クラス通信

### 後期スタート！

2M担任 福村 浩亨

.....

高専に入学し1年が経ち、2年生も残り半年となりました。夏季休業中は充実していたでしょうか。後期は体育祭や高専祭、音楽祭と高専三大祭もありイベントが目白押しですね。一見勉強と関係ないと思いますが、机の上で得ることができないほどの経験が手に入ります。だからこそ何事も一所懸命に取り組んで欲しいのです。どんな課題や目標にも最善を尽くすことで成長と成功を実現できます。そしてその中で楽しさを見つけることが大事です。モチベーションが高まり新しいことへの好奇心が自分を成長させてくれます。また楽しさは持続する力も生み出してくれます。

最後に、「自律」を心に留めてください。自分で考え行動することで自己成長できます。失敗したらやり直せばいい。何事もやってみなきゃわからない！

### 折り返し地点 無事通過！

2E担任 森田 昌孝

.....

クラス運営が上手くいくか不安が多い中で、始業式を迎え、初めてのクラス担任としてスタートすることになりました。しかし、そんな不安もすぐに無くなりました。2E学生が「先生！これはこうする」といい、「去年はこれをやっと思った」など、困っていると丁寧に教えてくれたのです。未熟者でしたが、学生の支えもあり、何とか前期も終わり、長い夏季休暇を迎えています。2Eの皆さんありがとうございました。

2Eは、クラス内で助け合ったり、わからない問題などを教えあったりと相互連携がしっかりできているクラスです。今では何も心配することなく、安心してクラス運営を行えています。

2年生は、成長著しい17歳です。夏季休暇明けに一回り大きくなったクラスの学生に会えることを楽しみにしています。後期も皆で力を合わせてガンガン行きましょう！

### 今？ 後？

2S担任 東木 雅彦

.....

「ひろゆき」って知ってますか？  
論破王などと呼ばれていますが、あのたぐいまれな能力は、いったいどうやって身につけたのでしょうか？

相手に何を言われても動じず、逆に相手を逆上させることを平気で言えるずぶとさ。討論中に相手の話の行方を予想をしながら聞き、間髪いれずに言い返す集中力。

これは、本人が言っていたことですが、高校生のとき友達と、討論して「相手を怒らせた方が勝ちゲーム」で遊んでいたそうなんです。

これを聞いたとき、「スポーツでもなんでも一緒だなあ。能力というのは、若いときにしか身につかないものなんだなあ」と、妙に感心しました

さて皆さんは、年齢的にちょうど、ひろゆき氏が上のゲームに夢中になっていたのと同じ時期にいます。

「今」頑張りませんか？ それとも、「後」で頑張りますか？

### 学問の楽しみ

2C担任 北川 友美子

.....

あっという間に入学から1年経ち、半年経ち、高専生活にもずいぶん慣れて勉強の仕方も身につけてきた頃でしょうか。2Cは非常に勤勉な学生が多いです。分らないところを潰していく努力を絶やさず、こつこつ粘り強い人が多いように感じます。なんでもそうですが、いつも話すように学問は三角フラスコのように底がとて広く水が溜まっていく様子が実感できないものです。それでも根気よく与え続ければいつのまにか溜まるのが速く感じる。とても面白いです。一旦水があふれるとどんどん流れ出します。皆さん5年間でそれを実感できるかな？ 出来たら次はなるべく大きなフラスコを用意してください。人生も同じようにできていますから。ありきたりな言葉ですが、努力を続ければいつか必ず実を結びます。豊かな未来を作ってください。

### Life is like a box of chocolates...

3M担任 Tomek Ziemia

.....

When this school year started, I was happy to be your homeroom teacher again. Last year I was nervous, but now I was excited to continue our family-like relationship as the new head of the English department. But at the end of April, my body was struggling to keep up with everything. I got diagnosed with an illness and was told to take three months off from May, and it was





## 学年通信

## 3学年クラス通信

just as big of a shock to me as it was to you all I'm sure... But after one month of recovery, I decided to come back early, even if I wasn't at 100%. Many of you messaged me on Teams telling me how classes were going, and that you worried about my health and wanted me to come back as soon as possible, which was really heartwarming. So now that the summer vacation is here and I still regularly go to the hospital to check up on my health, things have been improving slowly but surely, and it's all thanks to your warm support. In the classic film Forrest Gump, the main character says "Life is like a box of chocolates-you never know what you're gonna get." Even when things are going well, something unexpected can happen and change it all overnight. As you continue your studies at Kosen, always be prepared for the worst, but don't expect it and stay positive as much as possible! It's thanks to all of you that I've been able to be positive! 😊

## コロナ5類移行後、

## 初めての夏休み

3E担任 常安 翔太

今年のGW明けとともに、我々の頭から離れなかった新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、行動制限が求められなくなりました。4年ぶりに開催されるイベントも多々ありましたが、皆さんはどのような夏休みを過ごしましたか。私自身は、部活の引率@佐世保

やインターンシップ先の企業訪問@東京で県外に出張しましたが、それ以外は研究漬けの毎日でした。研究室学生(5年生～専攻科2年生)とは秋の学会発表に向けて実験結果をまとめ、共同研究先の方々とは論文文化に向けたストーリーを議論し、筆頭で研究成果を国際誌に投稿する等、充実していたように思います。

どこかのタイミングで皆さんに伝えたいと思いますが、本校入学前に思い描いた理想の高専生活を送れていますか? 勉学以外の活動の進捗はいかがですか? 特筆すべき成果は出せましたか? 時が経つのは早いもので、高専生活も残り約2年半となりました。一日一日を大切に頑張っていきましょう!

## 積極的に挑戦しましょう!

3S担任 重松 康祐

AIの進化が注目される今、AIには代替できない創造力や発想力が一層価値を増しています。このような能力は、受け身の姿勢での習得は困難で、自らが積極的に行動することでしか磨けません。

特に、4年生までは比較的時間を確保しやすく、新しいことに挑戦できる大事な時期です。一般の高校よりも長い長期休みを活用し、失敗を恐れず何か一つでも新しいことにチャレンジしてみてください。

皆さん早いもので3年生となり、時の流れの速さを痛感していることでしょうか。卒業までの時間は、あっという間に過ぎ去ってしまいます。卒業までの期間、後悔しないよう、どうぞ新しいことに積極的に挑戦してください。

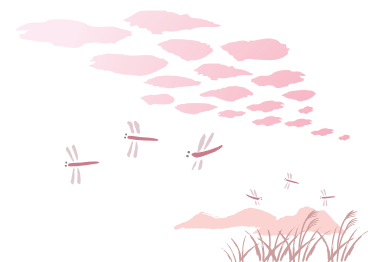
## 3Cのみなさんへ(前期末)

3C担任 名木野 晴暢

令和5年度前期は、SHR、学校行事、特別活動やALHなどを正副担任で見守ってきましたので、それぞれからみなさんへ以下の言葉を贈ります。

**名木野:**「迷うとき、自信がないときは一步前へ」。これは中学校の軟式野球、高等学校から社会人まで続けたバレーボールの守備を通じて学んだことで、スポーツだけでなく自身の進路選択の際にも役に立っています。進路や未来予想図について悩み迷うこと、自信が持たなくて不安になることは、だれもが一緒でよく普通のことだと思います。しかし、そんなときは立ち止まるのではなく、一步前へ! この勇気を持ってほしいと思います。

**内 田:**勉強や部活動等に関して目標を立て、一生懸命な3Cを尊敬しています。学習面が振るわない、進路が明確化していない学生も若干いるようですが、明日、来月にしようと思えばせず、急がず休まず頑張してほしいです。きっと道が開けるでしょう。「明日ありと思う心の仇桜 夜半に風の吹かぬものかは」。後悔のないようしっかりと取り組み、充実した後期にしようではありませんか!



## 学年通信

# 4学年クラス通信

### 自分の将来に向けて

4M担任 竹尾 恭平

高専4年生も前期が終了となりました。私も初めてのクラス担任が4年生ということで、非常に不安でしたが、クラスの皆さんに助けられながら、なんとか日々を過ごしています。

4年生ということで、これからの進路について真剣に考えていく時期となりました。学生の皆さんの話を聞いていると、就職を考えている、進学を考えている、まだ決めかねている、いろいろな学生が居ました。この文章を書いている現在は、夏季休暇中である。多くの学生は、この間にインターンシップに向かっており、企業について身をもって体験していることと思います。9月の最後には、研修旅行にも行きます。自分の将来に対して、色々考えることができたのではないのでしょうか。

来年からの就職活動等へ向けて残りの4年生を充実したものにしてきましょう。

### 大事な大事な4年生後半へ

4E担任 田中 大輔

やりたいことをやるためには、最初の内は違うこともしくはなくてはならない。これは堀場製作所創業者の堀場雅夫氏の言葉です。皆さんは、インターンシップ先や研修旅行先で活躍するエンジニアに将来の自分を重ね、ほんやりでも仕事するイメージできたのではないのでしょうか？楽しそうに働く姿や面白い仕事をしている姿にあこがれ、自分もそうなりたいと思っているかもしれません……そうなるためには、君たちはSPI試験や面接試

験を突破する必要があります。進学組も同じです。楽しいキャンパスライフのため、自分のキャリアのためには、試験で点数をとるしかありません。企業研究、受験勉強、TOEICやSPIの勉強を一人で継続することはとても難しいです。ぜひ、クラス全体でお互いに助け合って、良い未来のために皆で準備してください。このクラスはそれが出来る素養が十分にあると思っています。もし、きつくてさぼった日があっても、「いつもここから」と切り替えましょう！

### 百戦危うからず

4S担任 井上 優良

4年生後期もスタートし、今年度の折返し地点にさしかかりましたね。前期はどうでしたか？年度初めに面談で聞かせてもらった目標は達成できたでしょうか。達成できた！という人もそうじゃない人もいます。目標のレベルが合っていたか、目標への方向が思っていたのと合っていたのか、などなど。この半期を自分なりに振り返ってください。結果は大事ですが、その過程でどういうことが起きたのか、何を得られたのかを見える化しましょう。そして、得られたものを書き出して自分で自分をちゃんと褒めてあげましょう。これもまたいつも言っている日常の拡張の一つです。

さて、これからは進路選択の時期です。まずは自分がどんな人間で、これから何をしていきたいと思っているのか(あるいは何をやりたくないのか)自己分析をしてみましょう。自己分析ができれば、自分が達成したいことやどのような業界で働きたいかが見えてくるはずですよ。

の自己実現のためにどこへ就職/進学するのか絞っていきましょう。業界・仕事内容・場所、色々な条件があります。面接はお見合いと同じと言えます。相手の条件と自分の希望がうまく合うように自分を知り、相手を知っていきましょう。

### 久しぶりの担任、力んでいます

4C担任 一宮 一夫

7年ぶりかつ年齢差40歳超のクラス担任で、いくぶん不安もありましたが、学生の皆さんがうまくあわせてくれて、滞りなくクラス運営ができています(できているように思っています)。

今年の4年生は、コロナの影響で入学直後から厳しい生活を強いられ、従前はできていた学校での授業以外の学習体験ができていません。従いまして、「3年間の失われた学習の機会を取り戻させる」ことを自らの目標に掲げました。

まずは、夏休み中のインターンシップは全員が参加できるようにしました。業種は国・県・市、建設設計会社、建設施工会社です。場所は県内8名、九州・沖縄12名、中国2名、関西4名、関東12名と、多岐にわたります。

9月末の2泊3日の研修旅行では国内屈指の大規模建設工事現場(新東名高速道路関連施設、映画シン・ウルトラマンにも登場)、大手建設会社の最新鋭の技術研究所、渋谷地下再開発工事現場・超高層ビルを見学しました。

学生の皆さんからは「学校の授業が実社会でどのように生かされているかよく分かった」などの感想が届いています。後半戦も充実した学校生活になるようにサポートしていきます。





## 学年通信

## 5学年クラス通信

## 新生活はすぐそこ

5M担任 坂本 裕紀

このクラスは成績もよく、クラス運営にも協力的でとても助かりました。進学する者も多くいますが、社会に出る者も当然입니다。1年から5年まで続いた怒涛の科目勉強から、今度は社会勉強という責任を伴った物事に変わることでしょう。大変なこともいっぱいありますが、楽しいこともいっぱいあります。これまで学んだことが将来どこかで必ず役に立つときも来ます。私の授業中の雑談が活かされるときがあるかもしれません。良い家庭を築こうと思った場合は、私を参考にしてください。

勿論、今のうちは学生として最後まで気を抜かず、やるべきことに全力を注いでください。出席、単位取得といった、当たり前前のことがちゃんと出来てこそ、ようやく社会に飛び立つことが出来ます。新生活に向けて、悔いのない学生生活を心がけましょう。

## 残り5分

5E担任 石川 誠司

私はサッカー部の顧問をしています。皆さんの高専生活5年間を、サッカーの試合90分と置き換えてみると、高専生活残り5カ月は、試合の約5分と換算できます。サッカーの試合において最後の5分は非常に大切に、勝っている試合ならどのような形で試合を終わらせに行くのか、負けている試合ならどう足掻いたら逆転できるのか、このような攻防が繰り広げられます。

高専生活でも同じではないでしょうか。

次のステージに向けて、勉強・卒業研究・生活リズム・友人との交流・親への感謝、色々まとめでいかねばなりません。残りの5カ月をどう過ごすのか、一日一日を大切に過ごして頂ければと思います。延長アディショナルタイムだけは勘弁してくださいね。

木の長さを求める者は  
必ずその根本を固くす

5S担任 石川 秀大

大分に住み着いて7年。なんだかんだで家を建てることになった。木造の新築一軒家(車2台分のガレージ付き)である。年末に引き渡し予定で、9月初旬の時点ではまだ基礎の部分しかできておらず、それだけ見ると思ってたよりちっちゃく感じる。基礎は灰色のコンクリートで作られていて、ほとんど表には出ず、人に見られることもない。家の場合、上物がいくら立派でも、基礎がへばいとちょっと地球が身震いしただけで簡単に壊れる。野球の場合は下半身や体幹が弱いと肘や肩が壊れる。どんなに華やかで能力が高くても脆いモノは使いにくい。うちの家の基礎がいいのか悪いのか見た目では正直わからないが、縁あってC科の優秀な卒業生が担当になり、とても熱心に働いてくれるので、信頼している。今年は少し豊かな気持ちで新年を迎えられる。

新築祝い待ってます。

## 高専キャリアのまとめ

5C担任 前 稔文

5年生の秋を迎えました。一年前の明野通信では、「キャリアデザイン」として進路説明会や、SPIやTOEICについて綴りましたが、進路を決定していく中で、それらを上手に活用することができたでしょうか。進学するか就職するか迷ったことでしょうか、書類作成や試験に向けた努力を重ねてきたことと思います。大変な思いをしたかもしれませんが、その貴重な経験は、残りの高専生活や卒業後の学業や仕事において役立つと思いますので、しっかりと自身の成長の糧にしてください。

さて、高専生活は、残すところ半年となります。体育祭や高専祭、そして音楽祭などの各行事は、この5Cのメンバーと共に残せる思い出も今回が最後のものとなります。進路活動や学業だけでなく、良好な交友関係を築くこともキャリアデザインかと思えます。最後に、クラスみんなで行事を盛り上げ、良い思い出として残してください。高専生活で最高の思い出をつくってください。

次の春を迎えるとき、新たな門出がより良いものになるよう、良いキャリアを積んだと思えるよう、中身の濃い5年間を仕上げてください。大分高専で残すことができるキャリアも残り半年です。



# 専攻科便り

## 新しい取り組みについて

専攻科長 本田 久平

今年度の専攻科には、機械・環境システム工学専攻19名、電気電子情報工学専攻12名が入学しました。その中には、今年度から開始された九州大学工学部・九州沖縄9高専連携プログラムを履修する学生が2名含まれています。通常の学生に比べると1年次で受講する科目が少し多いので大変だとは思いますが、連携教育プログラムを修了すれば九州大学卒業と大分高専専攻科修了を同時に達成することができ、九州大学大学院への進学も優先的に行われる予定となっています。2名の履修者が居ることが周りの学生への刺激になることを期待します。

もう1つの新しい取り組みとしては、スタートアップ教育環境整備事業に伴うものです。プロジェクト実験で、災害レジリエンスマインド育成教育に関連したテーマ「地域あるいは自治体の防災力・減災力を向上させるためのアイデアに基づくものづくり」を行いました。専門分野を活かした立派な作品が完成し、高専防災減災コンテストに応募することになっています。

## 未来を担う人材

MC専攻主任 中野 壽彦

今年のMC専攻は、在籍17名のうち、就職希望者が13名、大学院進学希望者が4名となっています。各自が目標を明確に持ちながら就職・進学活動をしている姿を見て、頼もしく思っています。今後の活躍に向けて、残りの期間、特別研究などの学業に邁進してください。

昨年の講義でも紹介しましたが、経済産業省の「未来人材ビジョン」によると、未来の人材に求められる能力は、問題発見力、的確な予測、革新性などとされています。あらゆる分野でAIとロボティクスが台頭してくる中で「人間が担えるものは何か」が問われるようになってきます。また「シン・ニホン」の著者で

ある安宅和人氏によると、世界の二大課題は「地球との共存」と「人口減少」であるとしています。皆さんが専攻科を通じて培ってきた知識、経験、工学的センスによって解決できると思います。未来の活躍に期待しています。

## 修了までのカウントダウン

E S専攻主任 上野 崇寿

18名でスタート切った電気情報工学専攻の皆さんですが、令和5年度の修了まで残すところ半期程度となりました。あつという間の1年半だったのでは無いでしょうか。これからの数ヶ月は、あなた方の将来に大いなる影響を与える貴重な期間です。以下は、その時間をどのように過ごすかを重視したアドバイスです。

まずは、学業への集中についてです。電気や情報の学びに真摯に取り組み、理解を深めることが大切です。授業や課題に積極的に参加し、質問をし、専門知識を確実に身につけてください。また、専攻科での学びの中で興味を持った分野について、自主的に研究やプロジェクトに取り組むことで、より専門的な知識を得ることも可能です。

次にスキル磨きと実践です。卒業後に活躍するために必要なスキルを積極的に磨いてください。プログラミングやデータ解析、コミュニケーション能力など、産業界で求められるスキルを身につけることで、将来の就職やキャリアに強力な武器となります。また、学外での経験を通じて、実践的なスキルを磨く機会を見つけてみましょう。

最後に人との時間を大切にしてください。これから卒業までの時間は、友人や家族との別れの時でもあります。大切な人々との思い出深い時間を共有し、感謝の気持ちを伝えることを忘れないでください。彼らとの絆は、未来の支えになるでしょう。

残りの時間を上手に活用し、充実した学びと準備を積み重ねてください。将来に向けての準備が整ったあなた方が、素

晴らしい未来を手に入れることを信じています。

## 専攻科での学びと挑戦

MC専攻1年 佐藤 玲

専攻科に進学して1年の前期が過ぎました。専攻科生活を振り返り、本科時と環境の変化が少ないと感じます。これは専攻科の最大の魅力であり、同時に弱点にもなり得ます。

専攻科では本科で学習した知識を応用し他学科と協力して作品を作成する演習や土木以外の専門分野の講義などを今までと同じ環境で受講することができ、卒業研究から2年間研究を継続できることが魅力です。

しかし、環境に変化が少ないことにより生じる生活面や学習面でのモチベーションの低下という弱点もあります。その弱点を克服し成長するためには自ら課題を設定し、達成することが重要です。私は現在、TOEICの勉強をしています。これから専攻科で自分は成長したと胸を張って言えるような日々を過ごしたいと思っています。

## やる気をコントロールしよう

E S専攻1年 望月 龍一

心理学の用語に作業興奮というものがあります。これは、始めてしまえば自然とやる気は出てくる、ただ始めるまでが大変だということです。僕は本当にその通りだと痛感しています。僕はこの文章を執筆するにあたり、文字数の確認とwordファイルの作成、過去の明野通信の文章の確認等だけでもとりあえずしておいて、あとは文章を考えて書くだけにしておこうと思って作業を始めましたが、結局そのまま最後まで終わらせちゃいました。始めることに価値があります。終わらせる必要はありません。でもいざ始めたら止まらなくなって、気づいたら終わっているかもしれませんよ。





## 各種報告

## 高専体育大会競技 結果

## 第60回(令和5年度)九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会 結果

★全国大会出場

## 陸上競技

7/15(土)、16(日)

佐世保市総合グラウンド陸上競技場

男子 100m ★2位 佐藤匠悟(5M)  
5位 藤澤孝吉(5M)  
男子 200m ★3位 國司海斗(1S)  
男子 400m ★4位 浅野束颯(4E)  
男子 4×100mリレー

★1位

神野晃希(1E)、藤澤孝吉(5M)、  
國司海斗(1S)、佐藤匠悟(5M)

男子 4×400mリレー

★2位

藤澤孝吉(5M)、佐藤匠悟(5M)、  
浅野束颯(4E)、國司海斗(1S)

男子走幅跳

★1位 藤澤孝吉(5M)



## ソフトテニス

7/15(土)、16(日)

佐世保市総合グラウンドテニスコート

男子団体 3位

## バドミントン

7/15(土)、16(日)

佐世保市東部スポーツ広場

女子団体 3位  
女子シングルス 3位 荒木爽羽(3C)

## 水 泳

7/15(土)

佐世保市総合グラウンドプール

男子 100m 自由形 7位 安藤隼汰(2E)  
男子 200m 自由形 7位 草野弘明(1C)  
8位 小野紀一(4C)  
男子 200m 平泳ぎ 7位 山田一慧(4M)  
男子 4×100m フリーリレー 9位  
女子 50m 自由形 6位 高山一恋(2S)

## 硬式野球

7/21(金)~23(日)

北九州市立桃園球場・北九州市立大谷球場

第3位

## バスケットボール

7/1(土)、2(日)

北九州市立総合体育館

男子 Aブロック 出場  
女子 Cブロック 出場

## 卓 球

7/1(土)、2(日)

浅生スポーツセンター

男子団体 ★優勝  
ダブルス ★2位 高橋晴希(5M)・赤峰拓海(3C)  
女子ダブルス 3位  
深浦小夜野(3S)・野島あやめ(1E)



## 剣 道

7/16(日)

北九州工業高等専門学校第一体育館

男子団体 予選Aリーグ出場

## サッカー

7/14(金)~16(日)

八女東部スポーツ公園グリーンフィールド八女

出場

## 柔 道

7/15(土)、16(日)

久留米アリーナ

男子 個人戦 81kg級 ★2位 栗本晃希(4M)  
81kg級 3位 山口龍齊(3C)

## バレーボール

7/14(金)~16(日)

久留米アリーナ

男子 3位  
女子 3位

## テニス

7/10(月)、11(火)

パークドーム熊本

男子団体 3位  
女子ダブルス 3位 高倉朋花(3C)・安部花南(3C)

## 弓 道

7/8(土)

早水公園体育文化センター

男子団体 出場  
女子団体 出場

# 各種報告

## 第58回 全国高等専門学校体育大会 結果

### 卓 球

8/19(土)、20(日)

ひたちなか市総合運動公園総合体育館

男子団体 出場  
男子個人戦ダブルス 出場 高橋晴希(5M)・赤峰拓海(3C)



### 柔 道

8/19(土)、20(日)

千葉県総合スポーツセンター武道館

男子 81kg級 出場 栗本晃希(4M)



### 陸上競技

8/26(土)、27(日)

デンカビッグスワンスタジアム

男子 100m 3位 佐藤匠悟(5M)  
男子 200m 出場 國司海斗(1S)  
男子 400m 出場 浅野束颯(4E)  
男子 4×100mリレー 出場  
男子 4×400mリレー 8位  
男子走幅跳 出場 藤澤孝吉(5M)



## 各種大会 結果

### 少林寺拳法

6/4(日)

九重文化センター体育館

第71回令和5年度大分県高等学校総合体育大会

組演武の部(男子)

★2位 神河崇太(3C)・神河優太(1C)

組演武の部(女子)

★1位 越智友香(3S)・長野有里(3C)



### 少林寺拳法

7/21(金)~23(日)

道北アークス大雪アリーナ

令和5年度全国高等学校総合体育大会

組演武の部(男子)

出場 神河崇太(3C)・神河優太(1C)

組演武の部(女子)

出場 越智友香(3S)・長野有里(3C)





# 学生会便り

## 学生会長挨拶



学生会会長  
5M 高橋 晴希

皆さん、初めまして学生会会長の高橋です。実は、皆さんの前で話したのは、2、3回くらいあると思うのですが、自分でも知名度がないというのは重々承知しているのでここでは“初めまして”にしました。

自己紹介はほどほどにして、現在学生会がどのような活動をしているのかについて紹介したいと思います。現在、学生会は3大祭りと呼んでいる体育祭・高専祭・音楽祭の準備に取り掛かっています。1年生は初めての3大祭り、5年生からすると最後の3大祭りになります。そんな、大切なイベントを盛り上げるために我々学生会役員はお金が無いと嘆きながらも一生懸命頑張っております。

学生会の活動としては他にもクリスマスイベントの運営や目安箱など様々な活動を行っています。なかなか、学生会に属していないと実際に学生会がどのような活動をしているのかが分かりづらいと思いますが、1つでも多く学生会の活動に気づいてもらえると嬉しいです。また、先ほども挙げたように各教室に目安箱のポスターを配布しているので、来年度の行事でやってほしいことや改善してほしいことなどがあつたら教えてください。

今年ももう折り返しになりますが、学生会一丸となってイベントを盛り上げていくのでよろしくをお願いします！



## 副会長挨拶



副会長  
3E 太田 道志

「皆の者ー！ 準備はいーい？」  
「あなたの目玉をエレキネット！」  
「何者なんじゃ？ 副会長の太田道志です！」  
「おはこんハロチャオー！」

皆さん前期はお疲れさまでした！前期の努力と経験を大いに活かし、後期も更なる高みを目指して頑張っていきましょう！

後期は、楽しいイベントがたくさんあります。まず「体育祭」、体育祭では各学科ごとに団結して喜びを分かち合えます。特に見どころなのが、障害物競走です。障害物競走はコスプレをする学生もいて、非常に見ていて面白いです。次に「高専祭」、高専祭では各クラスの出店などがあり、とても楽しめます。中にはコスプレや女装をする多様性に富んだ学生もいて、ただ見て回るだけでも楽しめると思います。ぜひコスプレイヤーと一緒に写真を撮って、思い出の1ページとしてください。最後に「音楽祭」です。音楽祭は吹奏楽部や軽音楽部がパフォーマンスをするイベントで、かなり盛り上がりがあります。中庭ライブとは一味違った臨場感を味わうことができます。学生会は、この三つのイベントに力を入れて取り組んでいます。後期からもイベント成功に向けて、学生会一丸となり尽力していきます。現状として、副会長になってやりたかったことがあまり実現できていないので、もっと後期は積極的に取り組んでいきたいと思っています。

最後に、後期を成功に導くための鍵は「意欲」と「挑戦」です。前期の成果を基に、新たな知識や経験を吸収しながら、自分を成長させるために積極的に挑戦していきましょう。皆さんとともに、後期も素晴らしい学びの旅を歩んでいけることを楽しみにしています。一緒に頑張りましょう！

意欲意欲意欲意欲意欲意欲意欲意欲意欲  
挑戦挑戦挑戦挑戦挑戦挑戦挑戦挑戦挑戦  
意欲意欲意欲意欲意欲意欲意欲意欲意欲

## 新入生オリエンテーション



総務局長  
5S 疋田 萌華

こんにちは、学生会総務局長の疋田萌華です。昨今のコロナによる制限が緩和した今年、オリエンテーションは、やっと4年振りに香々地少年自然の家での開催となりました。学生会の誰も香々地でのオリエンテーションの主権を経験したことがなく、手探りで行事の準備を進めることになりましたが、先生方や指導学生の方々、ついてきてくれた1年生の協力のおかげで無事にオリエンテーションを行うことが出来ました。最中にはトラブルも多く、また天気にも恵まれず、予定と異なる対応なども多々ありましたが、最終的には1年生が楽しんでくれたようで、ほっとしています。ご協力頂いた全ての方へ、感謝申し上げます。

高専に入ってから年が経つにつれて1年生との年齢が開いていき、年々1年生の若さが眩しくなってきました。今年の1年生は特に元気が良く、校歌コンクールや学科対抗のバレーでは全員が和気藹々と盛り上がりながら取り組む姿を見て、これから行われる学生主体のイベントが今までの盛り上がりをもっと上回るようなものになるのではないかと期待が生まれてきました。

これから学生会主体のイベント、体育祭、高専祭、音楽祭が行われます。今年には全てのイベントが、コロナ前と同じ規模で行われます。高専の学生全員が楽しめるイベントとなるよう、学生会役員全員でイベント準備に取り組んでいきますので、最高のイベントになるように、学生会以外の生徒も含めた学生全員で頑張っていきたいと思います！



# 学生会便り

## 球技大会



体育局長  
5S 飛田 祐聖

こんにちは。体育局長を務めております飛田祐聖です。

まず初めに皆さまのご支援とご協力があったこそこの球技大会であり、今年も素晴らしい大会を開催できたことを心より感謝しています。

今年の大会は、コロナ前のルールや競技に戻しての開催となり、皆さんにとってどれだけ大切な瞬間だったことか、私たちが痛感しています。長らく制約が続いた中での大会開催でしたが、皆さんの笑顔や情熱を感じることができ、本当に嬉しさで胸がいっぱいです。選手のみ皆さんの熱意あふれるプレイは、観る人々に勇気や感動を与え、素晴らしいエンターテインメントを提供してくれました。

また、昨年度の大雨による中止の悔しさも、今年の晴天の下での開催で癒されたことでしょうか。自然の力には逆らえませんが、今年は皆さんにとってより充実した大会となったことを願っています。

このような大会を実現するには、先生方のご尽力、各部活動の方々の努力、そして学生会の皆さんの綿密な計画と協力が不可欠です。組織全体が丸となって、円滑な進行と楽しい雰囲気を作り上げてくださったこと、心より感謝申し上げます。

来年以降も、さらなる充実した大会を企画し、皆さんがより一層楽しんでいただけるよう努めて参ります。今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

10月は体育祭を予定しています。こちらは球技大会よりも学科ごとのつながりを強く感じられるような行事となっています。楽しく盛り上がる体育祭になるように準備いたしますのでお楽しみください。

## 七夕イベント



文化局長  
5S 植原 茂樹

こんにちは。文化局長の植原茂樹です。先日の七夕イベント、楽しんでいただけましたでしょうか。今年で3年目となった七夕イベントですが、元々はコロナ禍のときに学校を活気づけようと企画したことが始まりです。今はコロナの脅威も大体収まりましたが、皆さんの学校生活に元気を与えられていたら幸いです。といっても私はちょうど編入試験のある時期だったのでイベントのことは他の文化局員に任せきりだったのですが。七夕は織姫と彦星が年に1度だけ会える日。とてもロマンチックなイベントですが、私を落とした大学の面接官には年にいや、一生会いたくないですね。話がそれてしまいました。短冊に飾った皆さんの願いは叶いましたでしょうか。短冊に書かれている願いは勉強とか健康とかのジャンルに分かれるなあと思うのですが、〇〇が欲しいシリーズの幅広さには驚きました。「お菓子」から「恋人」まで書かれていましたので。ほかにもユニークな願いがたくさんあり検閲の際は微笑ましく見させてもらいました。

また昼休みには書道部、科学部、吹奏楽部、軽音楽部による中庭パフォーマンスも披露していただきました。各部のパフォーマンスの技術も高く、見ている人を楽しませるような演出もあり素晴らしかったです。

今年は短冊の中で抽選で7名にプレゼントを配りました。12月には昨年同様クリスマスイベントも企画しています。こちらでも景品の用意と中庭パフォーマンスを予定しているので皆様楽しみにしておいてください。



## 学生会総会



会計・監査局長  
5M 篠田 侑志

こんにちは。会計・監査局長の篠田侑志です。今年度の学生会総会にむけて運動や文化の各部長や学生会の各局長と予算会議を行い、学生会費の予算を決めました。

昨年度は総務局の平局員でしたが、会計・監査局長という躍進をしました。年度初めに今年度の収入に対して昨年と同じ支出額で組んだ予算が200万円の赤字になる、と聞いたときはどうしようかと思いました。ただでさえ急な躍進で仕事を把握できていないのに。コロナが落ち着いて今年は各部の高専大会が開催されるため、バスなどの移動費がこれまでよりも増えており、もうどうしようもないのでは？ と思いました。しかし各部長や各局長にご協力いただいたことにより予算を削減し、赤字のない予算案の承認を学生会総会で得ることができました。

予算を考えていただいた各部長と各局長、仕事を教えていただいた昨年度局長の狩野先輩や学生主事室の川野先生、学生課の佐藤さんには本当にお世話になりました。ありがとうございます。

今回の反省点や、仕事内容を含めて副局長に仕事を引き継いでいきます。保護者の方々からいただいた学生会費を部活や高専祭など、学生が輝く場をつくるために活用できれば良いなと思います。力不足ではありますが、右往左往しながら後輩の見本になろうと思います。今後ともご協力よろしくお願ひします。





## 寮生会便り



前期寮生会長

4M 栗本 晃希



後期寮生会長

4E 小野 夢歩



1寮(女子寮)寮長

5C 阿南 木花

明野通信をご覧の皆様、いかがお過ごしでしょうか。寮生会長の栗本です。皆さんの元に明野通信が届くのはきっと朝晩の冷え込みが〜と言われてる時期でしょう。風邪には気をつけてくださいね。

風邪と言えば、コロナが5類に引き下げられたのは今年度最大のトピックスですね。おかげで新たな試みであるドッジボール大会を開催でき、寮のレクリエーションにバレーボール以外の可能性も見出すことが出来ました。実は、何週間も前から企画部長の宮井君とああでもないこうでもないに練りに練った結果の特殊ルールでした。それを寮生の皆さんが協力的に動いてくれたり楽しそうにしてくれたりする姿を見た時には、何よりのやりがいを感じました。楽しんでくれてありがとうございます。

私がここまでやってこれたのには清武寮務主事存在がとても大きいです。イベント事の買い出し毎に宮井君と自分を車に乗せてあちこち走り回ってもらったり、いつの間にか失われた寮の各部の引き継ぎ資料の修復を図るため昼休みを惜しげも無く使ってもらったり、半ば思いつきの様な私の寮の改善案を聞き入れて実際に機能するように仕上げてもらったり、あげだしたらキリがありません。この場を借りて、感謝申し上げます。それに各部長や寮長もお疲れ様でした。自分らは何も引き継がれてないのに「引き継ぎ資料の作成をしよう！」なんて無茶を吹っかけても逃げずにいてくれてありがとうございます。次期寮生会長の小野君にもぜひとも素晴らしい仲間と一緒にがんばって欲しいです。

皆さんと明野寮の行く末を、もう1年半明野寮から見守っています。

この度新しく寮生会長になりました小野夢歩です。

今年の寮生会長・寮生副会長の選挙は去年と違いスムーズにできて良かったです。寮に入ったばかりの頃は自分が寮生会長になるなんて思ってもいなかったです。人生何があるか分からないですね。

せっかく寮生会長になったので、寮生のみんが「住みやすい」「住んでいて楽しい」と思えるような寮を作っていきたいと思っています。

皆さんは明野寮のルールの中でこのルールは要らないんじゃないかと思った事はありますか？ 僕はもちろんあります。例えば「マグネット動かすの忘れただけでポイントつくのおかしいだろ」とか「この歳になって門限が9時とか10時なのはやすぎるだろ」とか「なんで寮にゲームを持ち込んだらだめなんだ」とか「寮のWiFi 24時に切れるのウザすぎ」とかです。だけど、このルールが完全に無くなってしまったら寮が大変なことになってしまいます。そもそもそんなことさせてもらえないと思いますが、でもこのルールを緩和するくらいならできるんじゃないかなと僕は思っています。もちろん僕たちの素行が悪いとルールを緩和してもらおうことなんて絶対に無理だと思うので、まずは僕たちが先生たちに「こいつらならルールを緩和しても大丈夫かな」と思ってもらおうことが大事だと思います。これ以外にも明野寮を良くするために色々なことをしていきたいので、これをして欲しいってことがあったらteamsでメッセージを送ってください！

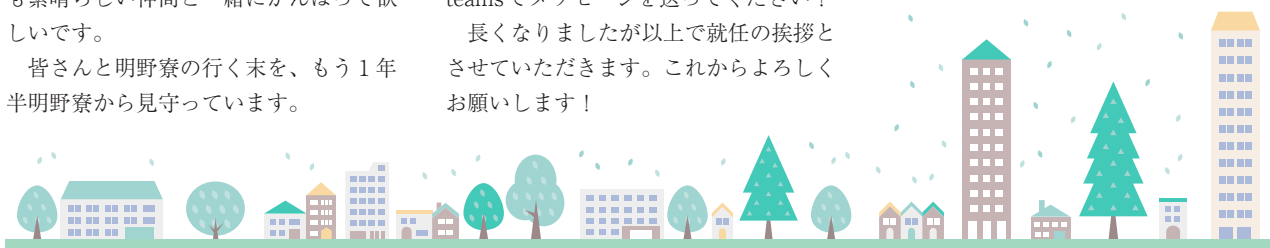
長くなりましたが以上で就任の挨拶とさせていただきます。これからよろしくお祈りします！

昨年の9月から1年間1寮長を務めさせていただきました5年都市・環境工学の阿南木花です。

今年度からコロナ以前の生活スタイルに戻しての寮生活が始まりました。4年生以下がコロナ以前の寮生活を知らない状況、また新入生が入ってくるというドタバタな状況でも皆さんがうまく対応してくれたおかげでコロナ禍以前に負けない充実した半年間を送ることができました。新入生歓迎会では先生にも参加していただき楽しく行うことができました。談話室いっぱい笑い声が響き渡ると、寮長としてこの会を主催できてよかったなととてもうれしい気持ちになりました。

4月に入学した1年生もだんだん寮生活に慣れてきて、部屋の前にいくつかのスリッパが並んでいると皆が仲良くなれてよかったなと安心と同時に自分たちが低学年のころを思い出して懐かしい気持ちになりました。これからの高専生活で同じ寮の仲間は貴重な存在なのでこれからも仲良く過ごしてほしいです。

前期の後半に新指導寮生が決まり、9月からは新寮長率いる寮生会新体制になります。前寮長から引き継いだことや1年間で学んだことを新寮長や新指導寮生に引き継いでより良い寮にしてほしいと思います。私は残りの半年を大切な5年生のメンバーとルールの範囲内で思いっきり寮生活を楽します！寮生活で寮長になれたという経験はとても良い思い出になりました。皆さんありがとうございます。



# 本科 新入生・留学生の声

## 高専に入学して

1M 飯沼 茂

新

僕は、高専に入学してから、とても楽しい学校生活を送っています。クラスや寮の人たちと毎日楽しく過ごしています。いつでも、寮では学校での話などをして盛り上がっています。寮では、友達といつも一緒にいるので、すぐに仲良くなりました。

学校では、授業が長かったり、定期テストが大変なので勉強を頑張っています。高専は自由度が高く、先生方も僕たちに厳しく勉強をするように言わないので、自分で思っているよりも多く勉強しなければいけないと感じました。

授業中は、先生の話が面白かったりするので楽しいです。

機械実習では、最初は慣れない作業や、長い時間作業するというのもあり、とてもつかれました。でも、だんだん実習が楽しくなってきました。

テストでは、科目が多くて大変だけど、友達と協力して頑張りました。また、前期は、新入生オリエンテーションや球技大会があり、クラスの人たちとの仲を深めることができました。後期はもっと色々なイベントがあるので楽しみです。

これからも、充実した学校生活を送ってきたいと思います。

## 高専生活を通して感じたこと

1E 安達 佑仁

新

高専に入学して最初は不安でした。周りを見れば知らない人ばかり、この先有意義な学校生活を送れるか不安になりましたが、オリエンテーションや球技大会などの行事や、日々の授業を共に過ごすことで、なんだか一つになれたような気がします。自分は学級委員にしては頼りない存在で、クラスメートに迷惑をかけてしまうこともあります。みんな優しく、いい仲間ができたなと感じています。90分の授業や、難しい専門科目に心が折れそうになるけど、この仲間たちと共に頑張っていきたいと思います。

## 高専生になって

1S 後藤 ひなた

新

私は普通科高校と高専で迷っていましたが、自由な校風に憧れて高専を選びま

した。高専生は個性的な人が多いと聞いていたので、クラスで馴染めるか不安がありました。ですが、登校初日から明るく元気なクラスで、女子は少ないものの、すぐに打ち解けて仲良くなりました。高専生活では想像以上に自由なことが多く戸惑うほどでしたが、ほかの学校とは校風が全く違うという特別感があり、ワクワクします。しかしその分、与えられた自由な時間をどう生かすかは自分次第、ということになります。家族や友人と過ごす時間、将来に役立つような資格の勉強などに費やす時間、趣味に没頭する時間。入学から半年が経った今、何をすることが自分にとって良いことなのかを考え行動できる人が高専に向いているな、と感じています。私は高専を選んでとても良かったです。

## 高専に入学して

1C 増田 凜華

新

高専に入学して一番初めに実感したのは、今までの学校生活と全然違うと言うことです。高校生になったから当たり前と思うかもしれませんが、90分授業や専門の科目、数学の進度の速さなど最初の頃は慣れるまで時間がかかりました。そして、中学とは違い、先生に指示されるのではなく、自分たちで行動しないといけません。今では、自由な校風にもすっかり慣れて自分なりに楽しんでます。

後期では、前期には出来なかった資格の取得や日々の勉強など将来の自分を見据えた取り組みを始めていきたいです。また、体育祭や高専祭などの様々な行事もあります。入学して初めての大きな行事です。思い出に残るように準備期間から本番まで協力しながら全力で取り組んでいきたいです。1Cは、高専祭でお化け屋敷をする予定ですので是非来てください。

## 高専に留学して

3M ニヴェン

留

こんにちは、私はニヴェンテクマールです。マレーシアからの留学生です。大分高専に留学してきて7ヶ月ぐらになります。私は機械工学科の3年生です。

私は子供の頃から原子力研究の分野に興味を持っていました。技術の進歩に伴

い、現在、医療分野における原子力の利用の可能性が広く研究されています。マレーシアの大学ではこのコースはあまり開講されていませんが、日本のほとんどの大学ではこのコースが広く研究されており、このコースを専門とする学部さえあることがわかりました。だから、大分高専で学んだ後は、このコースがある大学に進学したいと考えています。

マレーシアから来た私は、日本の習慣に慣れていませんでした。例えば、知っている人に挨拶とお辞儀をしななければならないという事実戸惑いました。しかし、時間が経つにつれて、私はこの礼儀正しい振る舞いを身につけることができました。また日本人は何事にも時間を守ることを優先するという事実も見つけました。寮の管理スタッフも、これらのことに私が慣れるまで助けてくれました。

勉強以外にも、サッカー部に所属していて、週3回の練習を楽しみにしています。サッカー部は健康維持と体型維持に役立っています。

大分高専での3年間の生活を楽しみ、新しいことを学び続けたいです。

## 高専は新たな冒険

3S アルヴィン

留

私はイランからの留学生です。日本に来てから、約一年間、東京で日本語の勉強をし、日本の首都で生活する経験ができました。今年4月に大分市に引っ越しして、大分高専情報工学科の三年生に入学しました。最初は留学生として不安なことがいろいろありました。周りの人は、私のことをどう思うだろう、日本語で勉強についていけるだろうか、どう行動するべきかなどです。でも、これらの不安は留学生でなくても、みんなが持っているものなんだと気づきました。でも、最後にこう決心し、学校生活を始めました。私はある目的のためにここにいるのだから、そのために頑張ろう。何があっても絶対に達成しよう。でも、実際はそんな悲壮な考えは必要ありませんでした。周りの学生も先生も優しく、学校生活を楽しんでいます。だからと言って、自分の目標を忘れたわけではありません。これから、不安な気持ちを持たずに、明るい将来のためにみんなと一緒に頑張っていきたいと考えています。



# 国内インターンシップ報告

## 4M 徳丸 瑛士

私は8月28日～9月1日までの5日間、東京都内で開催されたJALエンジニアリングのインターンシップに参加させていただきました。インターンシップでは、成田・羽田の整備工場見学や高専卒社員の方との座談会などを行いました。

私たちが普段利用している飛行機の内部構造やジェットエンジンの仕組みなどを教えていただき、飛行機の動力の仕組みを知ることができ、心躍るものがありました。また、滑走路に行き、運航整備部門の見学をさせていただきました。実際の現場はとても忙しく、整備士の方々が運行時間に間に合わせようとしている姿や私たちがよく目にするお客様へのお見送りに非常に感動しました。

座談会では実際に現場で働いている方の貴重な意見を聴くことができ参考になりました。高専卒社員の方とお話している中で高専時代にしておくことを聞いた際、「何かをするとき、必ず目的をもって行動すること。」とお伺いした時、私は今までの学校生活で何も考えてない生活をしていたなと感じました。私自身、今回のインターンシップで自分の足りないことを見つけ、これからどのように残りの高専生活を過ごすかという考えさせられる時間になりました。

## 4E 竹内 透弥

私は9/4～9/15の10日間、三菱重工業株式会社の夏期インターンシップに参加させていただきました。私が行った広島県の製作所では主に新交通システムの車両を製造しており、インターンシップでは、工場内の見学、車両の開閉式ドアの設計体験、金属加工と組み立て工場

の作業環境改善についての提案などを行いました。

そんなインターンシップで学んだ数多くのことの中に大切だなと思ったことが一つありました。それは、コミュニケーション能力の大切さです。工場や事務所の中にいると色々な場所で会話をしている場面を多く見かけました。公共交通機関の車両を作っているのも一つのミスが多く乗客の命に関わります。そんなミスの許されない現場だからこそ他の作業員とコミュニケーションをとり、部署ごとにミーティングをすることでミスをなくし、作業員の安全も守っているんだなと感じました。

「自分の意見を相手に伝える」「相手の意見を聞き、自分の中に取り入れる」簡単そうに見えて実は難しいこと。私も社会人になるまでにできるようになりたいなと思いました。

## 4S 武石 翔太

私は9/4～9/8の5日間、大分県産業科学技術センターのインターンシップに参加させていただきました。

大分県産業科学技術センターは、機械の貸し出し等の技術支援や研究開発などの様々な活動を行う企業であり、今回のインターンシップでは、センター内の見学やドローンの操縦体験、実際に行われている研究の協力などを行いました。中でも、研究の協力では、現場の雰囲気を感じることができ、ビジネスの現場の空気を知ることができました。

また、操縦体験をさせていただいたドローンは、初めて操作した私でも自在に操作することが出来る程操作性がよく、今回のインターンシップに興味を持った理由の1つであるドローンについて、楽

しく関心を深めることができました。

志望する職種が未定である私にとって、今回のインターンシップは、研究職という選択肢を視野に入れるいい機会となりました。今回得た学びを活かし、悔いのない進路選択を志します。

## 4C 川野 美南

私は8/28から9/1までの5日間、国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所のインターンシップに参加させていただきました。

研修では、国土交通省で行われている河川や国道の事業の流れや維持管理、災害対応について学びました。現場見学では普段は立ち入れないトンネルの電気設備や道路巡回、防災訓練などを見学しました。また、河川の見学では道路は通れて当たり前だという日常が送れているのは、いつ災害が起きてもいように防災業務に当たっている職員の方々日々の努力のおかげだなと強く感じました。他にも具体的な仕事の内容や、職員の方々の仕事に対する姿勢や考えを聞く機会をいただき、これから社会人として働いていくイメージを持つ貴重な経験となりました。

今回のインターンでは、知識の大切を痛感しました。国土交通省でも、デジタル技術が活用されていますが基礎の知識がなければ使いこなすことができません。また、災害時には自分自身の命を守るためにも正しい知識が必要不可欠です。

普段の生活では気付かないことを学ぶきっかけとなった実りの多いインターンシップでした。人々の暮らしや命を守ることで出来る技術者になれるように日々学び続けていきたいと思います。





## イングリッシュ・ルームについて

国際交流・留学生委員会委員長 田中 孝典

平成29年10月より毎週水曜日のALHの時間帯(14:40~16:10)に「イングリッシュ・ルーム」を開講しています。同ルームは、英語や英会話に興味がある、海外留学を考えているなどの学生に対して英語力の向上を図る場です。講師の先生は、立命館アジア太平洋大学(APU)に在学中の外国人留学生3名です。今年度、同講師3名の国籍はバングラディッシュ、タイ、ケニアです。実施内容は毎回90分を3セッションに分けて展開しています。第1セッションは、グループでゲームやクイズ等、第2セッションではプレゼンテーション(自国や他国の紹介など)を、第3セッションではフリートークを行っています。毎時間異なる内容を扱うので後期中からの参加も歓迎します。ぜひこの機会に英語を使う楽しさを感じてもらえたらと思います。

### イングリッシュ・ルームの魅力

2E 姫野 桜子

私は今年からイングリッシュ・ルームに参加しています。以前まで、高い英語力があるのではないかという私の勝手な思い込みもあり参加できずにいました。しかし、私は英語が好きです。内気ではありますが人と話すことが好きです。だから、英会話の力を伸ばしたいと相談したところイングリッシュ・ルームへの参加を勧められました。

毎回、フリートーク、ゲームその日のテーマに沿った活動といった順序で行われています。活動の中で、先生方が気軽に話しかけてくれます。そのため、内気な私でもたくさん話す機会が与えられていると感じています。

イングリッシュ・ルームの魅力の一つ

は、講師の先生方の出身国がそれぞれ違うところです。文化の紹介のプレゼンを受けたとき、挨拶、食べ物、言語など普段触れることのない文化を感じることができました。それぞれの国の挨拶の仕方を知った後、先生方の国の言葉で挨拶をして楽しんでいます。

二つ目は、集中して英語を活用できることです。自己紹介の時には、内容を深掘した質問をし、話を広げてくれます。前に立って発表するため、話し手は英語で答えます。聞き手は、紹介や質問を聞き取り自分の中で考えることができます。また、プレゼンを受けるときは先生方からの情報を集中して聞くことができます。ゲームでは、自分が知っている単語を活用し、また友達からの知識を得ることで、自分の知識も増やすことができます。

その活動の中で、自分の中でまだ足りていない部分に気が付くことができ、悔

しさを感ずることがあります。それは、実際にいき英語に触れなければ気が付かなかったことだと思います。それに気が付けるということはとても貴重な機会だと考えます。

まだ私は自分の中でこの力が伸びたと感じることは正直ありません。しかし、これからも参加したいと思います。それは、純粋にこの活動の時間がとても楽しいから、楽しみだからです。皆さん、先生方との交流を一緒に楽しみませんか。







## 英語集中セミナーだから こそ学べる生きた英語と プレゼンスキル

3S 前田 航輝

今回、この夏季英語集中セミナーに参加したのは、実際に英語を使って会話、発表などをしたかったからです。私は以前から、英語力を向上させる、特に話すことができるようになるためには、授業や普段の勉強だけでは足りないと思っています。もちろん授業で学ぶ内容も大切なのですが、それ以上に実際に英語を「使う」ことが重要だと考えています。私は1年生の時から毎年この英語集中セミナーに参加していて、実際にネイティブの講師の先生との会話、生徒との英語を使ったアクティビティ、そして英語のプレゼンテーションができるという魅力を知っていたので今年も参加させていただきました。

特に印象に残ったアクティビティはクイズゲームと一分間スピーチです。クイズゲームは、出題者が、うち1つが嘘である、自分のことに関する文を3つ考え、回答者が嘘の文を当てるといったものでした。私は「任天堂のキャラクターの“リンク”のモノマネができる」という文を作ったのですが、講師の先生の反応が良く、みんなの前で披露することになりました。また、英訳でわからないところを聞く過程で、雑談で盛り上がりもしました。このように、講師の先生との距離が近く、ノリもいいので楽しく英会話ができるのもこのセミナーの魅力です。

普通に生活をしていればあまりこのような機会はありません。余談ですが、講師の先生の出身がニュージーランドで、私も以前この学校の短期語学研修プロジェクトでニュージーランドに行ったので、話が合いました。ホーキーボーキーというニュージーランドで人気のアイスのフレーバーがあるのですが、私が日本で食べれなくて恋しいと言ったら、大分駅のFoodwayにあるよと教えてくれました。なんて優しい人なんだと思い、セミナー後に買いに行きましたが、そこにホーキーボーキーはありませんでした。彼の情報はオーキードーキーではありませんでしたが、彼の良心に誠心誠意感謝しました。

一分間スピーチは、与えられたお題に対して一分間スピーチをする単純なものです。私は準備時間に内容を十分に思いつかなかったの、考えながら話す必要があったので、苦労しました。場合によっては、日本語でのスピーチでさえ難しいことがあるので、とてもためになるものでした。

この英語集中セミナーでは、宿題が出されます。それが、最終日に行われる英語でのプレゼンテーションのPowerPointスライド作成です。将来、社会に出て働くにあたってプレゼンテーションスキルというものは必ず武器になります。このセミナーではそれを磨くことができます。しかもスライドも台本も質疑応答も全て英語なので無料参加とは思えない経験値を得ることができます。私はこれをするために毎年セミナーに参加しています。一年生のときは、そもそ

もPowerPointもうまく扱えず、ましてや英語で、みんなの前で発表をするのでとても不安でした。しかし、事前に講師の先生がコツや作り方を教えてくださったり、セミナーの雰囲気が温かくラブなものなので、むしろ楽しくプレゼンテーションをすることができました。プレゼンテーションの作成、準備時間も十分に貰えるので安心です。私はこれまで「妖怪ウォッチ」、「チンアナゴ」のプレゼンテーションを行い、今回は「ニュージーランドの旅」のプレゼンテーションを行いました。また、プレゼンテーション後に講師の先生から総評、アドバイスをいただくので、次に生かすことができます。私は、「親しみやすくカジュアルな発表でよかったが、もっとかしこまった状況での発表のときは、使うフレーズに気を付けると良いよ」とアドバイスをいただきました。日本人向けの発表とは違い、ネイティブの人でないとわからない感覚などもあるので、とても勉強になりました。

私は毎回このセミナーに参加した後、発音やコミュニケーション能力の向上だけでなく、英会話のフレーズがスムーズに出るようになったと感じます。しかし、少し英語から離れると、すぐに元に戻ってしまうので、常に英語に触れ、学び続ける必要があると思いました。ですので、なにか英語力を向上させるきっかけが欲しい、さらに向上させたいという方はぜひこの夏季英語集中セミナーに参加してみてください。英語集中セミナーの開催に尽力を尽くして下さった先生方、講師の先生方、貴重な体験をありがとうございました。



# 地域共創テクノセンターから

皆様には、平素より本校の運営ならびに学生教育に対する温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

地域共創テクノセンターは、地域に根差した研究開発を展開することを目的に、2017年に発足しました。工業と環境科学に関する教育・研究に留まらず、地域への公開講座や地元企業との共同研究を通じて、大分県の産業と教育の活性化に取り組んでいます。

当センターは、大分県の「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂)」に対応した研究支援体制を整備しています。最近では、科学研究費補助金、共同研究や受託研究の受入れが年々増加しています。その結果、機械・電気電子・情報・都市・環境・農学などの多様な分野の専門性を有する教員が学生とともに様々な研究活動を実施しています。

地域共創テクノセンターでは、本年度も地域連携の活動拠点として、次の取り組みや活動を活発に進めていきます。

- 技術相談、共同研究、受託研究および寄附金の受入れ
- 技術講習会、講演会、公開講座(小学生から社会人までを対象)「科学と遊ぼう!」講座の実施
- 大分高専テクノフォーラム連携による技術講演会と先端研究発表会の実施

現在、本校では研究を通じた高度な人材育成を目指して、高専機構が推進するGEAR5.0のマテリアル分野とエネルギー・環境分野の協力校として活動を実施しております。

これらの活動は社会ニーズと本校の誇る研究教育能力の接点を増やす貴重な機会であり、本校教職員が一丸となって取り組んでいるものです。



地域共創テクノセンター長  
尾形 公一郎

令和5年度も公開講座10件、科学と遊ぼう1件を実施予定です。また、STEAM教育の一環として、科学の甲子園ジュニア大分大会の講座を担当予定です。

これらの活動を通して、小学生から中学生の若年層に科学や技術の楽しさに興味を持って頂く活動を教職員が一丸となって進めています。



大分高専テクノフォーラム 第34回技術講演会



令和5年度公開講座



## 大分高専

- 【専攻科(MC, ES)】** 最先端の工学研究, 高度研究人材の育成
- 【機 械 工 学 科】** 特殊切削加工, 機能材料, 粉体処理, 水素精製技術, 機械制御, 流体制御
- 【電気電子工学科】** 電動機制御, 光波解析, ロボット制御, 人工知能, パルスパワー, 情報処理設計

- 【一 般 科】** 中世歴史, 英語教育, 最新数学, 物理・理科教育, スポーツ科学
- 【情 報 工 学 科】** 脳波活用, 振動解析, 画像処理, 通信生体システム, 数理・情報理論, FPGA
- 【都 市・環 境 工 学 科】** コンクリート, 歩行環境, 環境微生物地盤改良, 水環境, 都市デザイン

## 地域共創テクノセンター

- 全教員による研究体制**
- ・安心部門
  - ・活力部門
  - ・発展部門
  - ・知力向上部門

- 水素協働研究室**  
(大分高専-ハイドロネクスト社の共同研究施設、2021年2月設置)

- GEAR 5.0**  
[K-CIRCUITが牽引する高度先端マテリアル社会実装研究・教育(2020年度~2023年度)]  
[水素社会実現に向けた社会インフラ構築のための研究開発と人材育成(2022年度~)]

## 全国高専連携

- ・鶴岡高専
  - ・小山高専
  - ・豊田高専
  - ・鈴鹿高専
  - ・奈良高専
  - ・呉高専
  - ・久留米高専
  - ・佐世保高専
- 外

地域企業との産学連携

- 大分県 「安心・活力・発展プラン2015」**
- ・地方創生の加速前進
  - ・先端技術への挑戦
  - ・強靱な県土づくり

- 大分県 新エネルギービジョン 大分市 水素利活用計画**
- ・臨海部地域水素推進
  - ・水素スマートコミュニティ
  - ・水素グリーンビジネス

- 地域企業&経済界 [大分高専テクノフォーラム]**
- ・高専と会員企業の技術交流
  - ・技術講演会、企業見学会
  - ・共同研究、受託研究の推進